

渡 壁 議 員 (民主県政会)

平成 24 年 2 月 23 日
教 育 長 答 弁 実 録
(教 育 委 員 会)

(問) 地産地消を中心とする食育の展開について

地産地消を中心とする食育の積極的な展開について、教育長の見解を伺う。

(答)

児童生徒が健康で豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要であることから、食育を知育、徳育、体育の基礎として位置付け、その推進に取り組んでいるところでございます。

その主要な取組の一つとして、地場産物の活用を進めているところであり、平成 22 年度から実施しております「地場産物を活用した食育推進事業」に取り組んだ地域では、学校関係者、生産者等の連携が図られ、学校給食への地場産物の活用率が本県の目標値の 30% を超えるなどの成果がでております。

また、この事業を通して、子ども達が生産者を身近に感じたり、地元の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心を持つようになるなどの成果も表れております。

今後は、教育委員会主催の研修会などを通して、その成果の普及に努めるとともに、農林水産局と連携し、栄養教諭等が農業体験を通して生産者等と交流する機会を設けることなどにより、指導力を向上させ、食育の一層の推進に努めて参りたいと考えております。